

平成27年10月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【留学生特別入試】  
・平成28年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【8月募集】入学試験問題

講 座	法政理論、比較国際法政、 公共法政、司法政策
専門科目	国際私法

### 第1問

日本の化学薬品会社Yは、甲国に工場を建設し、化学薬品を製造していたが、従業員の過失により有毒な原料が排水溝から工場近くの川に流れ出してしまった。その川は、隣国の乙国につながっていたため、乙国内でも甚大な被害をもたらした。

以下の問いに答えなさい。

(1) 乙国人Aは、乙国で大規模に野菜を栽培していたが、この事故により莫大な損害を被った。そこで、Aは、Yを相手取って日本の裁判所に損害賠償の訴えを提起した。Aの損害賠償請求については、何国法が適用されるか。

(2) 日本に在住する日本人Bは、乙国を観光旅行中、乙国内で川遊びをした際に、汚染された水が原因で内臓に重度の損傷を被った。Bは、日本に帰国後、Yを相手取って損害賠償の裁判を起こした。Bの損害賠償請求については、何国法が適用されるか。

### 第2問

日本人Aと甲国人Bの夫婦は、乙国籍の未成年の子Cを養子にするため、日本の家庭裁判所に養子縁組の許可審判を申し立てた。この養子縁組が有効に成立するか否かは、何国法によることになるか。

以上